

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。 —

【効能・効果】 【使用上の注意】 改訂のお知らせ

セフェム系抗生物質製剤

リアソフィン 静注用 0.5g
リアソフィン 静注用 1g

LIASOPHIN for Intravenous Injection
注射用 セフトリアキソンナトリウム水和物

セフェム系抗生物質製剤

モダケミン[®] 静注用 0.5g
モダケミン[®] 静注用 1g

Modakemin for Intravenous Injection
日本薬局方 注射用セフトジジム

合成ペニシリン製剤

ピペユンシン 注射用 1g
ピペユンシン 注射用 2g

PIPEYUNCIN INJ.
日本薬局方 注射用ピペラシリンナトリウム

製造販売(輸入)元
 株式会社 **ケミックス**
横浜市港北区新横浜 2-15-10

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、『リアソフィン静注用 0.5g/1g』『モダケミン静注用 0.5g/1g』『ピペユンシン注射用 1g/2g』の

【効能・効果】 【使用上の注意】を改訂致しましたので、ご案内申し上げます。

今後のご使用に際しましては、下記改訂内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 主な改訂内容

項目	内容
【効能・効果】	<効能・効果に関連する使用上の注意>の項を新設し、抗微生物薬の適正使用に関する文章を追加。
【使用上の注意】 〔一部改訂〕	急性腎不全の記載整備。

2. 改訂内容（下線_____：自主改訂による改訂箇所）

リアソフィン静注用 0.5g/1g

改 訂 後	改 訂 前
<p>【効能・効果】</p> <p>〈効能・効果に関連する使用上の注意〉 <u>咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、副鼻腔炎への使用にあたっては、「抗微生物薬適正使用の手引き」を参照し、抗菌薬投与の必要性を判断した上で、本剤の投与が適切と判断される場合に投与すること。</u></p> <p>【使用上の注意】 1. ～3. 現行通り 4. 副作用 (1) 重大な副作用（頻度不明） 1)～3) 現行通り 4) 急性腎障害、間質性腎炎：急性腎障害、間質性腎炎があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 5)～10) 現行通り (2) その他の副作用 現行通り 5. ～10. 現行通り</p>	<p>【効能・効果】</p> <p style="text-align: center;">（項目なし）</p> <p>【使用上の注意】 1. ～3. 現行通り 4. 副作用 (1) 重大な副作用（頻度不明） 1)～3) 現行通り 4) 急性腎不全、間質性腎炎：急性腎不全、間質性腎炎があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 5)～10) 現行通り (2) その他の副作用 現行通り 5. ～10. 現行通り</p>

モダケミン静注用 0.5g/1g

改 訂 後	改 訂 前
<p>【効能・効果】</p> <p>〈効能・効果に関連する使用上の注意〉 <u>咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、副鼻腔炎への使用にあたっては、「抗微生物薬適正使用の手引き」を参照し、抗菌薬投与の必要性を判断した上で、本剤の投与が適切と判断される場合に投与すること。</u></p> <p>【使用上の注意】 1. ～3. 現行通り 4. 副作用 (1) 重大な副作用（頻度不明） 1) 現行通り 2) 急性腎障害等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に検査を行う等観察を十分に行い、異常が認められたら場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 3)～8) 現行通り (2) その他の副作用 現行通り 5. ～9. 現行通り</p>	<p>【効能・効果】</p> <p style="text-align: center;">（項目なし）</p> <p>【使用上の注意】 1. ～3. 現行通り 4. 副作用 (1) 重大な副作用（頻度不明） 1) 現行通り 2) 急性腎不全等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に検査を行う等観察を十分に行い、異常が認められたら場合には投与を中止し適切な処置を行うこと。 3)～8) 現行通り (2) その他の副作用 現行通り 5. ～9. 現行通り</p>

ピペユンシン注射用 1g/2g

改 訂 後	改 訂 前
<p>【効能・効果】</p> <p>＜効能・効果に関連する使用上の注意＞ <u>急性気管支炎への使用にあたっては、「抗微生物薬適正使用の手引き」を参照し、抗菌薬投与の必要性を判断した上で、本剤の投与が適切と判断される場合に投与すること。</u></p> <p>【使用上の注意】</p> <p>1. ～3. 現行通り</p> <p>4. 副作用</p> <p>(1) 重大な副作用（頻度不明）</p> <p>1)～2) 現行通り</p> <p>3) 急性腎障害、間質性腎炎等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</p> <p>4)～6) 現行通り</p> <p>7) 横紋筋融解症があらわれることがあるので、筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、横紋筋融解症による急性腎障害の発症に注意すること。</p> <p>8) 現行通り</p> <p>(2) その他の副作用 現行通り</p> <p>5. ～10. 現行通り</p>	<p>【効能・効果】</p> <p>(項目なし)</p> <p>【使用上の注意】</p> <p>1. ～3. 現行通り</p> <p>4. 副作用</p> <p>(1) 重大な副作用（頻度不明）</p> <p>1)～2) 現行通り</p> <p>3) 急性腎不全、間質性腎炎等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。</p> <p>4)～6) 現行通り</p> <p>7) 横紋筋融解症があらわれることがあるので、筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、横紋筋融解症による急性腎不全の発症に注意すること。</p> <p>8) 現行通り</p> <p>(2) その他の副作用 現行通り</p> <p>5. ～10. 現行通り</p>

2. 改訂理由

○自主改訂

1) 厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知による改訂

平成29年6月1日、抗微生物薬の適正使用の推進を目的として、厚生労働省健康局結核感染症課より、「抗微生物薬適正使用の手引き 第一版」が発出されました。これを受け、本手引きに基づき、抗微生物薬の適正使用がなされるよう注意喚起を行うため、抗微生物薬の【効能・効果】の改訂を行いました。

＜参考＞薬生安発0327第1号（平成30年3月27日発出）

2) 添付文書内の「急性腎不全」を「急性腎障害」に変更

「急性腎不全」の表記を、最近の知見に基づき「急性腎障害」に変更致しました。

＜参考＞医薬品・医療機器等安全性情報（No.341）

改訂後の添付文書は、医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp>) 並びに弊社ホームページ (<http://www.chemixjp.co.jp/>) に掲載しております。